

9/15

みんなが主役！しもだて商工まつり 楽しいイベント盛りだくさん



クローズアップ ちくせい

地元の商工業者が力を合わせ、地域経済の活性化を目指す「わんだふる筑西！しもだて商工まつり 2024」が下館商工会議所青年部（正根寺和人実行委員長）が主管となり、旧庁舎跡地駐車場で開催されました。今年のテーマは「ぼくがわたしが主役の商工まつり」。初の試みとして職業体験ブースが設けられ、工作体験やアロマ作り、カメラマン体験など、子どもたちは気になる職業を思い思いに楽しんでいました。また筑西市誕生 20 周年 PR としてオリジナル缶バッジ作りや、下館一高生徒によるSDGs 俳句カルタの体験会が行われ、休日を楽しく彩るイベントとなりました。

9/16

子どもたちが 1 日 JA 職員に 梨の収穫や選果作業を体験

筑西市観光振興推進協議会（渡辺一洋会長）がお仕事体験プログラム「こどもわーく in 筑西市」を開催しました。地域資源を活用した仕事体験をつうじ、地域の愛着を深めることを目的とした本イベントには、県内外から親子 5 組が参加。JA 北つくばの見習い職員として、収穫や選果作業、直売所での販売を体験しました。参加した子どもたちは「作ったポスターを見て、お客さんが梨を買ってくれたことが嬉しかったです」と笑顔で話しました。今後は交流・関係人口の増加を目的に、観光商品化を目指します。



9/11

地域課題解決へ 100 万円寄付



（株）エーアンドエー茨城（松井晃介代表取締役社長）が市役所を訪れ、地域社会の課題解決に役立てて欲しいと 100 万円の寄付をいただきました。大切に使用させていただきます。

9/5

関彰商事野球部全国の舞台に初挑戦 大岩監督と東田選手がパリ五輪の成績を報告



国民スポーツ大会への初出場を決めた関彰商事（株）野球部の藤井楽監督と、パリ五輪に出場した同社のスポーツアドバイザーでサッカー男子 U-23 の大岩剛監督、同社所属で陸上男子 100m の東田旺洋選手が市役所を訪れました。藤井監督からは全国大会への意気込みを、大岩監督と東田選手からはオリンピックの成績や出場した感想を伺いました。須藤市長は「たくさんの感動をもらいました。野球部の活躍も期待しています」と激励しました。



9/21

こんなに大きく育ったよ 田植えしたお米で稲刈り体験



下館小学校おやじの会よしながたかかず（吉永孝和会長）主催の「わたしのぼくのお米づくり2024」で6月に田植えをしたお米が収穫の時期を迎え、子どもたちが稲刈りを行いました。「成長を楽しみにしていました。自分たちで田植えから収穫まで行ったので、よりおいしく感じます」と子どもたちは実りの秋を楽しんでいました。

9/17

園児が初体験の ぶどう狩りに大興奮



倉持地区の中山果樹園なかやまたかし（中山隆詞オーナー）の協力のもと、認定こども園せきじょうの園児たちがぶどう狩りを行いました。初めてのぶどう狩りに、園児たちは大興奮。背伸びをしながらより大きいぶどうを見つけようと、子どもたちはまるで宝探しのようにぶどう狩りを楽しんでいました。



9/23・28

手話言語国際デー ブルーライト点灯と講演会を開催

9月23日の手話言語国際デーに合わせ、明野コミュニティセンターをブルーライトで彩りました。式典では点灯式のほか手話ソングを披露し、耳が聞こえない人と聞こえる人が相互に尊重し、共生する社会の実現を願いました。

28日には、手話エンターテイナーなすの那須映里氏えりが、世界共通の手話である国際手話の魅力伝える講演会を開催しました。自身の海外での体験を交えながら講演を行い、参加者は理解を深めました。

9/22

蔵前小と5年ぶりに里山で交流 土の感触やありのままの自然に大興奮



連携協定を結ぶ東京都台東区との都市・農村交流事業で、台東区立蔵前小学校つのみと（津野澄人校長）の児童と保護者約100人が五郎助山を訪れ、自然体験をしました。当日はNPO法人里山を守る会たけざわかん（竹澤寛理事長）の協力で、魚釣りやピザづくり体験、ターザンロープなど数多くの体験スポットが用意され、子どもたちは里山の中での遊びに刺激を受けていました。ターザンロープに挑戦した子は「初めての体験でとても楽しいです」と颯爽と滑り降りていました。



9/19

敬老の日に合わせて 市長が長寿をお祝い



今年度100歳を迎える高齢者を須藤市長が訪問し、褒状と記念品を贈りました。今回訪問した早瀬ちよさんはやせ（灰塚）によると、元気の秘訣は1日2回行う散歩。市では今年度47人が100歳を迎え、100歳以上の高齢者数は102人となります。